

Q&A

一般質問



まえかわ
まさや
前川 昌也 議員
自民党市政会



質問の様子は
こちら！

人口減少に対する 市長の考えは

Q 人口減少が続く、2040年には約4万人との推計もある。市長の率直な考えを伺う。

A 本市の人口は昭和51年の約6万7千人をピークに令和6年11月1日現在では約4万8千人と深刻な状況です。若い世代が都会を目指すのは自然なことですが、その現実にはしっかり向き合わなければいけません。これから本格的な多死社会を迎え、結果的に内需も縮小していきます。

人口増加は20年かかる課題であり、先進事例も参考に、今からでも色々な施策を講じながら人口減少のスピードを緩め、持続的な坂出を作り上げていくことに邁進していきます。

(市長)

消防本部新庁舎の整備を

Q 消防本部、東部分遣所ともに老朽化が進んでいるため、東部分遣所を廃止し、消防本部へ統合したうえで新庁舎を整備すべきと考えるがいかがか。

A 東部分遣所の出動体制や、道路交通網の整備状況を踏まえ、東部分遣所を廃止し本署への統合は必要であると認識しています。

消防本部庁舎は県内の消防本部の中で最も古く、仮眠室の個室化、職員増加に伴う事務スペースの確保など建設当時には予想されていなかった課題もあることから、消防本部内にワーキンググループを立ち上げ、具体的な検討を開始しております。

(消防長)

要望

東部分遣所の廃止には課題もあるが、防災力強化のためにも慎重に議論しながら、ぜひ統合の計画を進めていただきたい。

質問の主な項目

- ・ 財政について
- ・ 防災について

など



わかたに
しゅういち
若谷 修治 議員
政志会



質問の様子は
こちら！

教員の自己負担問題に 対する市の認識は

Q 教員が仕事上必要なものを自己負担していると聞く。教育委員会の認識を伺う。

A 本市では授業で使用する教材・教具、教員が業務上必要な消耗品や備品等は教材費や学校運営費など公費で支払っています。しかし、学校で用意されたもの以外で教員自らが必要性を感じて個人で負担しているものがあるのも現状です。修学旅行の引率者の入館料についても施設によっては自己負担が生じています。

市教育委員会としても教員が業務を遂行するうえでの自己負担の実態を明らかにし、教員の自己負担が生じないように指導・助言していきます。

(教育長)

保護者に対して 真摯な対応を

Q 小中学校の統廃合には保護者や地域の方への細心の配慮があるが、今回の坂出中央幼稚園の募集停止に向けた説明と比べると大きくかけ離れている。今後児童数が減少していけば、他の就学前施設でも閉園ということが考えられる。保護者に対する真摯な対応を求めるが、所見を伺う。

A 11月から令和7年度の保育施設の入所申込が開始されています。今後については、その入所者数や坂出市の人口動態、民間施設との役割分担等を勘案しながら、就学前施設のあり方について検討を重ね、さらに在園児保護者との話し合いの場を持つなど、丁寧な対応を行っていきます。

(健康福祉部長)

質問の主な項目

- ・ 戦略的農業振興について
- ・ 消防団員の確保について

など